

ブラジルを伝えよう

学校所在府県：大阪府	指導時数：8時間
学校名：大阪市立加美北小学校	対象学年：小学6年生
名前：原田 義夫	対象人数：39人
実践教科：総合的な学習の時間・社会	

1. 教師海外研修を通して感じたこと

教師海外研修では、「日本とブラジルのつながり」や「今のブラジル」について多くのことを学んだ。研修では移民などの日本とのつながり、経済成長をしているパワーなどを感じた。私は、いい意味で予想を裏切られ、ブラジルに対するイメージが変わり、“この感動を子どもたちにも伝えたい”と強く思った。

「日本とブラジルのつながり」については、日系移民の歴史と活躍や日本の国際協力について視察した。特に、トメアスの日系移民者の方たちの苦労や努力・活躍は強く心に響いた。また、「今のブラジル」については、ブラジルの成長と影の部分を感じることができた。成長と影に関しては、都市部とアマゾン地域では様子が違っていた。都市部では、大きな国際イベントを控えた経済成長と貧困やごみ問題を感じ、アマゾン地域では農業を中心とした成長と環境問題に対する取り組みを学ぶことができた。

さらに、教師海外研修では視察を通して様々な方と出会った。この人との出会いこそが、多くのことを私に感じさせてくれた。私は、実際に見て感じたことや様々な方と出会って感じたことを子どもたちに伝えて広めていくことが、ブラジル理解や国際理解の第一歩になると考えた。

2. カリキュラム

(1) 実践の目的・背景

今回ブラジルを中心とした学習を進めるにあたって、児童がイメージするブラジルについてのアンケートを行った。アンケート結果では、1位がサッカー、2位がサンバやカーニバル、3位がアマゾンの熱帯雨林という結果であった。他に、ブラジルに出発する前に事前指導として、「～をしている自分が好き」という課題で絵を描かせ、越智学園に持参して紹介した。本学級の児童は好きな遊びや習い事などを中心に絵を描き、日本の建物や文化の絵を描いている者もいた。ブラジルの小学校の児童にはどんなことをしている自分が好きか質問をして、その様子を録画して本学級の児童にも紹介した。

本実践はブラジルを知ることからはじめる。アンケートの結果より、児童がイメージしているブラジルをさらに深め、学びとしていくため、アマゾン地域の森林問題やそれに対する取り組みを学習していく。

ブラジルには日系移民が多くおり、アマゾン地域では農業における日系ブラジル人の活躍が高く評価されている。環境に優しいアグロフォレストリー農業は日本とのつながりがある。トメアスの農業組合では、アグロフォレストリーで生産されたカカオ豆やアサイーなどの農産物を日本に輸出している。

これらのブラジルと日本とのつながり、アマゾン地域での取り組みを知り、次にブラジルでの問題や環境に対する取り組みを知ることが学習を深めるのではないかと考えた。

(2) 授業の構成

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
1 時限目 ブラジルを知る① *ブラジルに関する基礎知識を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none">●ブラジルの地理的位置を確認する。●「ブラジル」についてイメージするものを話し合う。●ブラジルの人々のくらしを知る。 一食べ物や娯楽など、教科書を使って説明する。	<ul style="list-style-type: none">●Google Earth●社会の教科書●ワークシート

<p>2・3時限目 ブラジルを知る② *ブラジルの人々のくらしの様子を知る。</p>	<p>●モノランゲージをする。 ー現地から持ち帰ったものやブラジルボックスを活用し、そのものは何かを考え、人々のくらしを説明する。</p> <p>●フォトランゲージをする。 ー現地で撮影した写真を活用し、写真は何を表わしているかを考え、人々のくらしを説明する。</p>	<p>●ブラジルのモノ ●写真</p>
<p>4時限目 日本とブラジルのつながりを知る *日本の国際協力や日系移民の歴史を知る。</p>	<p>●写真をもとに、日本の国際協力について知る。 ●写真や映像をもとに、日系移民の歴史や農業での苦労を知る。</p>	<p>●ビデオ（ZERO） ●写真 ●ワークシート</p>
<p>5時限目 アマゾン地域について知る *森林破壊と森林保全の取り組みを知る。</p>	<p>●モノ・フォトランゲージをする。 ●アマゾン地域での森林破壊や森林保全の取り組みを知る。 ●アグロフォレストリーを知る。</p>	<p>●ビデオ（ZERO） ●写真 ●ワークシート</p>
<p>6・7・8時限目 ブラジルを伝えよう *ブラジルについての理解を深める。</p>	<p>●班ごとに興味があるブラジルのことについて調べ、ミニ新聞にまとめる。 ●班ごとにブラジルについて調べたことを発表し、交流する。</p>	<p>●インターネット</p>

3. 授業の詳細

1 時限目：ブラジルを知る①

ねらい…ブラジルに関する基礎知識を学ぶ。

◆内容◆

- ① ブラジルの地理的位置を確認する。
- ② 「ブラジル」についてイメージするものを話し合う。
- ③ ブラジルの人々のくらしを知る。

👉👉👉がポイント!

- ▶ ブラジルの地理的位置の確認には「Google Earth」がおすすめである。
- ▶ はじめは、学習する前の児童のブラジルに対するイメージを交流させることが大切。
- ▶ 小学校6年の社会の教科書では、「日本とつながりの深い国」としてブラジルが取り上げられている。他教科と関連付けて学習でき、新しく資料を作成する時間を節約できる。

ワークシート①

◆所感◆

私が教師海外研修でブラジルに行き、児童が書いた絵をブラジルの小学校で紹介するなどの事前指導があったので抵抗なく学習を進めることができた。また、社会科として導入することで、ワークシートを活用して普通の授業のように進めることができ、ブラジルについて理解できた。

2・3時限目：ブラジルを知る②

ねらい…ブラジルの人々のくらしの様子を知る。

◆内容◆

- ① モノランゲージをする。
- ② フォトランゲージをする。

👉👉がポイント!

- ▶ 日本と似ているものや違うものがあることに気づかせることが大切。

<フォトランゲージで使ったもの>



東洋人街の街並み



ブラジルで売られているマンガ



ブラジルの中の日本

児童の反応

- ▶ モノランゲージでは、ピラニアの剥製やピラルクのうろこなどのアマゾンに関するものに興味・関心が高かった。「うろこめっちゃ硬い」「こんな大きいうろこやったらどんだけ大きい魚なんやろ」などと反応していた。また、まんがやアニメなどで言葉は違うが日本と同じであることに驚いていた。
- ▶ フォトランゲージでは、多様な人種がいることに驚いていた。また、サンパウロの東洋人街や地域の交番の写真では、日本のものがたくさんあることに驚いていた。「日本の警察は見本になるぐらいすごいな」などと反応していた。

<フォトランゲージで使ったもの>



竹馬を使った活動の様子



街中にあるごみ箱



子どもたちの活動の様子

児童の感想

- ▶ ブラジルには日本と違うものがたくさんあるのでおどろいた。ブラジルの色々なことが知れてうれしかった。
- ▶ 大阪橋があってびっくりした。自分たちの住んでいる場所の名前があってちょっとうれしかった。そして、七夕など日本と似ているところがあってブラジルが好きになった。

◆所感◆

滋賀県国際協会からブラジルボックスを借りて指導にあたった。特に、モノランゲージは好評で、授業後の休み時間まで興味深く観察していた。フォトランゲージは写真の量が膨大で、伝えたいことがたくさんあったので選定に苦労した。

4時限目：日本とブラジルのつながりを知る

ねらい…日本の国際協力や日系移民の歴史や苦労を知る。

◆内容◆

- ① 写真をもとに、日本の国際協力について知る。
- ② 写真や映像をもとに、日系移民の歴史や農業での苦労を知る。

児童の感想

- ▶ 竹馬が日本から伝わったのはおどろいた。
- ▶ 多くの日本人がブラジルに行って、家作りや仕事探しからはじめたのは大変だったと思う。そして、今は日系ブラジル人がブラジルで評価されるまでがんばったのはすごいと思う。

◆所感◆

本時は次時で日系移民が生み出したアグロフォレストリー農法について学習するため、それ以外の日本の国際協力や日系移民の苦労や活躍について学習を進めるように配慮した。

5時限目：アマゾン地域について知る

ねらい…森林破壊と森林保全の取り組みを知る。

◆内容◆

- ① モノ・フォトランゲージをする。
- ② アマゾン地域での森林破壊や森林保全の取り組みを知る。
- ③ アグロフォレストリーを知る。

ワークシート②▶

日本とつながりの深い国 <ブラジル> No. 2
 6年 組 名前 ()

課題
 (1) 予想を○で囲みましょう。またそのように考えられた理由を書き添えましょう。
 ①増えている ②減っている ③その他 ()

<理由>
 (2) () について
 (ネーワードをメモを書き添えましょう。)

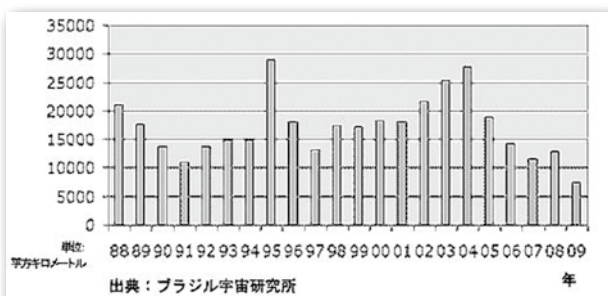
(3) () について
 (ネーワードをメモを書き添えましょう。)

(4) グループの予想を○で囲みましょう。またそのように考えられた理由を書き添えましょう。
 ①増えている ②減っている ③その他 ()

<理由>
 <感想>
 <これから調べたいこと>

👉👉がポイント!

- ▶ アマゾン地域を児童が身近に感じることができるよう、導入ではアサイージュースやアグロフォレストリーチョコレートを用意した。また、これらに関係するモノ・フォトランゲージを行い、その後の学習へ意欲・関心が高まるように工夫した。
- ▶ 本時はアマゾン地域の森林面積の増減について考える。森林面積は減っているが、人々の努力によって減り方が緩やかになっていることに気づかせることが大切である。



アマゾンの森林伐採面積の推移

児童の感想

- ▶ 勝手に森林を伐採する人がこんなにいるなんて、とてもひどいと思った。そして、森林を守るために日本の衛星技術が使われていてびっくりした。日本はすごいと思った。
- ▶ 日系移民の人たちが考えたアグロフォレストリーは、環境にやさしくてすごいと思った。ブラジルでこんなに活躍しているなんておどろいたし、自分もがんばろうと思った。



アサイーの種



アサイージュース



カカオの種



カカオの実

◆所感◆

導入でモノ・フォトランゲージをしたことで時間調整が難しかった。盛りだくさんの内容であったが、アマゾン地域に対する興味・関心は高まったと考える。また、アマゾン地域の森林の増減については、映像資料をもとにグループで考えさせた。森林面積は減っているが、減り方が緩やかになっていることに気づいたグループがいたので、理解は深まった。しかし、もっと議論の時間を確保できていればよかった。

6・7・8時限目：「ブラジルを伝えよう」

ねらい…ブラジルについての理解を深める。

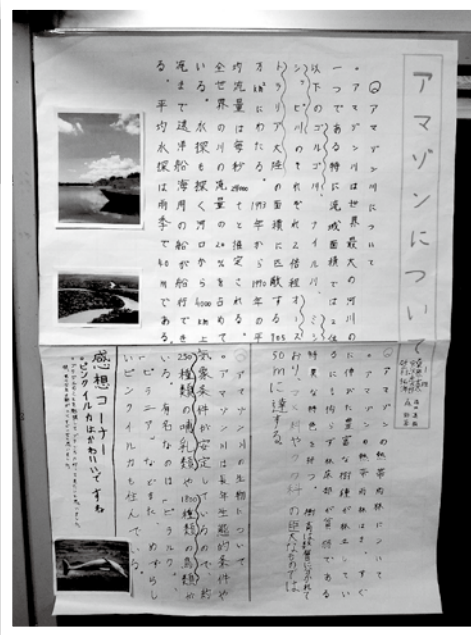
◆内容◆

- ① 班ごとに興味があるブラジルのことについて調べ、ミニ新聞にまとめる。
- ② 班ごとにブラジルについて調べたことを発表し、交流する。

👉👉👉がポイント!

▶ 調べる内容はブラジルの問題点ばかりに偏らないように指導した。ブラジルに対するいいイメージで本実践を終ることができるように工夫した。

ブラジルについて調べた新聞▶



児童の反応

- ▶ 児童はブラジルの文化以外にも、動物や観光地について調べ、発表していた。新しい発見がたくさんあり、「これ見て」と自分が調べたことを友だちに教えている様子も見られた。
- ▶ また、前時で学習したアマゾン地域について調べているグループがいくつかあった。さらに、ミニ新聞の隅にサッカーコーナーを作り、ブラジルのサッカー選手の紹介やワールドカップでの活躍についても交流していた。

児童の感想

- ▶ ブラジルでは色々な問題がありますが、日本は平和です。ブラジルでがんばっている日系移民の人たちのように、私もがんばります。
- ▶ 日本ががんばっているように、環境問題などが少しでも少なくなるために節水をしたり、ごみを減らしたりします。
- ▶ ブラジルのことをたくさん知れてよかったです。私もブラジルに行きたいと思いました。家でも勉強したことを話したいと思います。

◆所感◆

今までに学習したこと以外に、ブラジルについて調べ、学び、交流できたことは大変よかった。児童は新しい気づきがあり、ブラジルについての理解を一層深めることができた。

2学期には、「私がブラジルで見て感じたことを子どもたちにも伝えて欲しい。」と、保護者からの声もあった。そこで、実践のまとめとしてミニ新聞を懇談会に合わせて、教室や廊下に掲示した。保護者からも好評であった。今回の学びを次は行動に移せるように続けて指導していきたい。

4. 成果

本実践で児童はブラジルについて理解を深めることができた。実践前の事前アンケートに比べ、実践後には日系移民などのブラジルとのつながりをイメージする児童が多くいた。児童は社会科や総合的な時間の外国人教育の実践で、韓国・朝鮮や中国について日本と近くてつながりの深い国として知っているが、遠いブラジルにもつながりがあることを学べたのは大きな成果である。私の想像以上にブラジルに興味・関心を持つことができた。

導入では、ブラジルに関係するものや写真を使って興味・関心を高めることができ、私が実際にブラジルで見て体験したことが児童にも伝わったと考える。また、アマゾン地域の森林について学習を進めたことにより、身近な環境問題や保護について学習できた。そして、グループでブラジルに関係する新聞を作成して人に伝える活動を取り入れたので、理解が深まった。何より、ブラジルの魅力や良さを知ることができた。授業以外の時間でもブラジルやアマゾン地域のテレビやものを見たとき声をかけてくる児童もおり、学びが確かなものになったと考える。

5. 課題

本実践を進めるにあたり、ブラジルの問題点ばかりに注目するのではなく、日本とブラジルのつながりに主眼を置いてブラジルの良さを知ることから国際理解を深めていくことをねらいとして計画した。

本実践で取り扱ったブラジルの問題点は、アマゾン地域の森林についてである。アマゾン地域の森林破壊や森林保全については理解を深めることができたが、その他の問題点にはあまり触れていない。フォトランゲージで都市部のごみ問題や貧困問題に少し触れて説明はしたが、調べ学習の際にこのような問題を扱っているグループはなかった。このため、ブラジルがかかえる問題についての意識はあまりもてなかったように思う。

また、ブラジルだけにおさまらず、関連付けて他の国にも学習を進めていく必要がある。世界に目を向けて問題意識をもつことこそが、「持続可能な社会」を築いていくための担い手として必要だと考えるからである。以上のような課題をもとに、今後も改善して実践を進めていく必要がある。

参考文献 「ブラジルと出会う」 IAPE ポルトガル語教室、谷啓子、富本潤子 編著 国土社

参考ホームページ 「ブラジル宇宙研究所」

<http://www.inpe.br/>

「ニュース ZERO 違法伐採によるアマゾンの森林破壊の現状と日本が協力する衛星による監視システム」

<http://www.youtube.com/watch?v=x2-VjXPsfTk>

「ニュース ZERO 日系移民が生んだ未来農法」

<http://www.youtube.com/watch?v=6WwGXAlSLp>

衛星によるアマゾンの監視▶

